草の根の交流の継続を

日本都市青年会議　監事　小川俊一

私たちは、2011 年から日中緑化交流基金の助成を受け、陝西省渭南市潼関県の黄河流域の植樹協力を始めてから、現在の長江中流域の湖北省宜都市・江西省九江市都昌県・安徽省安慶市懐寧県で、中国国際交流センターの協力のもとに緑化事業と地域交流を行ってきました。

宜都市植林起工式／植林風景

とりわけ、地域交流にあたっては、必ず教育機関の見学、交流等をお願いし毎回楽しみに幼稚園から大学まで、青少年教育施設も含めて交流を重ねてきました。

本年度は湖北省宜都市に３月 17 日～21 日にかけて４回目の訪中団を派遣し、湖北省・宜昌市・宜都市の各青年連合会の皆さんや宜都市をはじめ地元行政の方々や青年ボランティアの皆さんと植樹に汗を流しました。

また、過去３ヶ所の植林地の成育状況も確認させていただきました。いずれも順調で活着率も優れており、安心しました。初年度に訪れた紅花套鎮の長江を望む丘陵地に植えた桐の木も大きく丈夫に育っており、懐かしい思いになりました。

宜都市植林起工式／植林風景

次に６月 15 日～20 日にかけて安徽省安慶市（３回目）と江西省都昌県（４回目）を併せて訪中団を派遣しました。安慶市懐寧県では安慶市・懐寧

県の各青年連合会の皆さんをはじめ地元行政の方々とともに植樹に汗を流しました。

地域交流では懐寧県実験小学校を訪問させていただきました。懐寧県は京劇のルーツといわれている「黄梅劇」発祥の地であり、現在も盛んに演じられており児童たちもクラブ活動で練習を重ねているとのことでした。当日は、私たちのために日頃の成果を披露してもらいました。可愛い仕草がとても印象的でした。

また、場所を変えて児童と教職員を交えた懇談会も用意していただきました。日本の子どもたちが、どのように学校で過ごしているか、何をして遊んでいるのかなど、幅広い質問を受けました。皆さんの日本への関心の高さと知識に大変感心しました。

江西省九江市都昌県では、都昌県青年連合会・都昌県黄クチナシ産業協会の皆さんと地域住民の方々と一緒に植樹を行いました。植林に従事する人たちは高齢の人たちが多く、山の斜面での作業の安全を願うばかりです。

また、管理保育員の確保に当たっては、障害を持つ人たちを積極的に採用するなど地域に根差した管理・運営に配慮していることをうれしく思いました。

これからも、植林地の皆さんと一緒になって、できるだけ植樹を続けながら草の根の交流を図って行きたいと願っております。

安慶市懐寧県／植林風景

安慶市懐寧県／懐寧県実験小学校

都昌県植林風景